

令和3年3月29日

尾花沢市議会議長 殿

会派名

代表者（無会派議員）名 伊藤浩



調査研究報告書

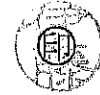
次のとおり政務活動事業を実施しましたので報告します。

事業名	県内の各分野における先進地視察
期 日	令和3年3月22日(月)
主な利用 交通機関	貸し切りジャンボタクシー
実施場所	① 飯豊町・長井市 東北おひさま発電株式会社 ② 高畠町 高畠熱中小学校 ③ 白鷹町 ほっこり農園
調査研究 内 容	① 1) 家畜はいせつ物を原料としたバイオマス再生可能エネルギー発電事業 2) 農業用水路の水を利用した小水力発電事業 ② 旧時沢小学校の廃校舎を活用した生涯学習事業 ③ 自然降雪を活用した雪下野菜栽培事業
参加者	伊藤 浩

※添付書類：所感等を任意様式にまとめ添付する

令和元年 3 月 29 日

伊藤 浩



政務調査視察研修 所感

1. 飯豊町 東北おひさま発電 バイオガス発電所、

一番に驚いた事は、自然環境に徹底的に配慮した事業経営を行っている事である。3つの牧場で飼育している1,400頭の和牛畜舎から搬出される排泄物は、全て地下のパイプラインを通過して発電施設に運ばれる。そのために、施設内の汚れや臭いは殆ど発生していない。又、残さ物も全て畜舎や牧場にリサイクルされるシステムであった。まさに自然と調和している施設である。当市でも尾花沢牛の一大生産地となっているが、再生エネルギー開発の域まではだいぶ距離があると思う。しかしながら、現在のたい肥センターの老朽化によるメンテナンスで大きな費用が発生する事を考えれば、今後一つの方法としてチャレンジしてみる必要があるのではないかと考える。

2. 長井市 東北おひさま発電 ミニ水力発電所

発電所と聞くと規模の大きいイメージがあるが、このミニ発電所は基盤整備を行った時の農業用水路の水を利用した発電所である。年間発電量が80,600kwhの約20戸分の発電量であり、使用された水は用水路に戻されている。設備投資費用もそれほど大きくないとの事であった。市内でも自然流水を利用した水力発電事業が進められようとしているが、六沢地内に建設されているような、農業用水路を利用した発電所の設置可能なポイントは市内に数多く存在すると考える。風力発電も併せて、再生エネルギー利用への新たなチャレンジはすでに求められているのが現状ではないかと思う。

3. 高島町 廃校を活用した生涯学習施設 「熱中小学校」

「もういちど7歳の目で世界を・・・」をキャッチフレーズにして、2015年からスタートした生涯学習施設である。運営するのは廃校再生プロジェクトのNPO法人であり、姉妹校は15存在している。受講生徒は県内の方が8割占めているとの事、地域との関わりがあまり無いという事が少し残念であった。授業の内容は多岐に及んでおり、著名な講師陣がそろっている。又、60歳を過ぎると授業料が2倍になるというのが面白いと思った。市内の廃校施設は、地域振興に関わる施設として有効活用されているが、このような多面的な学習施設として位置づけする事も一つの選択肢ではないかと考える。

4. 白鷹町 ほっこり農園

脱サラから就農し、6年目を迎えた新野さんは小松菜のハウス栽培をメインとした農業に取り組んでいる。自然雪を利用した雪下野菜として、キャベツや人参の栽培もおこなっていた。特徴的な事として、自家農産物はJA等の流通ルートを通さずに、全て自力で販路開拓を行っている事である。若いバイタリティをひしひしと感じた。雪下野菜栽培は、積雪が約1メートルである地域で労力が問題だと話していたが、当市で実現するのは少し厳しいのかと感じた。